

## 共同研究室

## 1994年度 経済学会会員業績

本年度経済学会会員が本誌以外に発表した業績は次のとくである。

稻葉 和夫

日本企業の海外直接投資の動向に関するアンケート調査 (財)電力中央研究所委託研究報告 1994年6月  
北米における授業方法改善のための支援組織

——ブリティッシュコロンビア大学での研修会出席の経験より—— 立命館教育科学研究 1995年3月

岩田 勝雄

『新地域国際化論』 法律文化社 1994年4月

『国際交流と地域経済』 『自治フォーラム』 自治大学校 1994年6月

『京都の国際化政策の展開と今後の方向』 『京都地域研究』 立命館大学人文研 1994年11月

『地域を知り、地域を知らせる、外国を知り外国を語る人材を』

『国際化フォーラム』 自治体国際交流協会 1995年1月

大日 康史

An Empirical Study of the Wage-Tenure Profile in Japanese Manufacturing

*Journal of Japanese and International Economies* 1994

Testing the Matching Hypothesis: The Case of Professional Baseball

in Japan with Comparison to the US *Journal of Japanese and International Economies* 1994

Price Flexibility in Japan: 1970-1992 A Study of Price Formation in Distribution Channel

*Pacific Economics Papers* 1994

小塩 隆士

『マーケットを動かす経済指標』 日本経済新聞社 1994年8月

『製品在庫と生産行動——日本の自動車産業の場合——』 『日本経済研究』 1995年3月

『民間エコノミストを愚弄する大蔵省の財政情報独占』 『エコノミスト』 1995年1月

『円高は景気の足を引っ張るか』 『ESP』 1994年11月

角田 修一

協同社会の経済システム——アメリカ・ラディカル派エコノミストの経済民主主義論——

野村ほか編『協同の社会システム』 法律文化社 1994年11月

マルクスのはじまり——マルクスの政治経済学の理論的可能性について——

『経済科学通信』 基礎経済科学研究所 No. 77 1994年10月

杉野 圭明

全国祇園祭りに思う 『京都地域研究』 立命館大学人文研 1994年11月

畠中 敏之

身分を越えるとき——雪踏をめぐる人びと—— 塚田孝他編『身分の周縁』 部落問題研究所 1994年5月

国民融合論の歴史認識 『部落問題研究』 129号 1994年6月

部落問題解決の展望と部落史 滋賀県同和教育研究会編発行『1993年度研究収録』 1994年8月

「部落史」と歴史教育	歴史教育者協議会編『歴史教育・社会科教育年報1994年版』	1994年8月
履物——つくる・履く・直す——	吉村武彦他編『日本の歴史を解く 100話』大英堂	1994年9月
「出自の自覚」と部落問題	『部落』583号	1994年10月
身分を越える雪踏職人	『マージナル』10号現代書館	1994年11月
書評・塚田孝著『身分制社会と市民社会』	『日本史研究』391号	1995年3月

日高 正好

『私記 三好達治』 編集工房ノア 1994年9月

藤岡 悅

「資本主義はどこへ行く」基礎経済科学研究所編『ゆとり社会の創造 [改訂版]』所収	昭和堂	1994年5月
「京都・西陣で子育て協同組合に挑戦」	『協同の発見』第26号	1994年5月
書評・浅野 誠『大学の授業を変える16章』	『大学創造』1号	1994年10月

福光 寛

『銀行政策論』	同文館出版	1994年4月
『新訂 社会常識としての経済学』	日本経済評論社	1994年4月
「銀行による投資信託販売の波紋——アメリカで何が問題になっているか——」	『地銀協月報』	1994年6月
「アメリカの郵便貯金」	『証券経済』第189号	1994年9月

古瀬 政敏

イギリスの生保会社における保険契約者配当とアポインテッド・アクチュアリーの役割	『文献論集』生命保険文化研究所	1994年6月
量から質への転換が急がれる生保経営	週間エコノミスト	1994年12月
英国における生保商品内容と仲介人の報酬開示規制	『文献論集』生命保険文化研究所	1994年12月

松原 豊彦

米加自由貿易協定下におけるカナダの穀物マーケティング・システム	カナダ研究年報第14号	日本カナダ学会	1994年9月	
カナダの穀物流通システムと農業協同組合小麦プールの事業展開	協同組合奨励研究報告第20輯	全国農業協同組合中央会編	家の光出版総合サービス	1995年1月

### 【各種研究会開催一覧】

#### 経済学会共同研究会

1994年度第1回研究会（5月20日）

►テーマ Regional Labour Markets and Individual Work Histories:  
Migration and Occupational Mobility in England and Wales  
報告者 A. J. Fielding 氏

1994年度第2回研究会（6月3日）

►テーマ 「最適間接税体系と所得再分配」  
報告者 小塩隆士氏

## 1994年度第3回研究会（7月1日）

▶テーマ 生命保険業に対する規制の各国の動向

報告者 古瀬政敏氏

## 1994年度第4回研究会（7月22日）

▶テーマ 資本主義の発展と生活様式の変化

——アグリエッタの「フォーディズム」概念を素材にして——

報告者 森脇丈子氏

## 1994年度第5回研究会（10月21日）

▶テーマ 東ヨーロッパにおける民営化と民主化

——Privitization and Democratization in Eastern Europe: A Research Report——

報告者 Chris Pickvance 氏

## 1994年度第6回研究会（12月2日）

▶テーマ CAPITALISM AND INEQUALITY: A GENERAL THEORY  
OF INCOME DISTRIBUTION

報告者 柳 鍾一氏

## 1994年度第7回研究会（1月13日）

▶テーマ 第2次大戦後の台湾の金融システムと経済発展

報告者 黄 玉琴氏

## 経済学会セミナーシリーズ

月 日	テ　ー　マ	報　告　者
第1回 6月8日	The Endogenous Span of Life	赤井伸郎氏（大阪大学）
第2回 6月10日	Signalling Effect on the Trade Liberation Policy	石黒真吾氏（京都大学）
第3回 6月15日	メインバンク関係の動学分析： 金融環境の変化とメインバンク関係の変容	加藤正昭氏（都立大学）
第4回 6月22日	企業雇用行動と調整費用	嶋 恵一氏（京都大学）
第5回 6月24日	Strategic Investment: the Labor-Managed Firm and the Probit Maximizing Firm	岡村 誠氏（帝塚山大学）
第6回 6月29日	Capital Mobility in the World Economy: An Alternative Measure	新谷元嗣氏（大阪大学）
第7回 7月6日	製造業における投資および資本調達 ——設備投資・研究開発および借入に関する実証的 考察——	竹廣良司氏（同志社大学）
第8回 7月8日	Household Structure and Labor Markets in Prewar Japan Chief Executive Turnover and Firm Performance in Japan	Carl Mosk 氏 (Victoria Univ.) 安部由起子氏 (名古屋大学)

第9回 7月15日 A Bayesian Analysis of Censored Autocorrelated Data on Export of Japanese Passenger Cars to the U.S. 霍見浩喜氏 (Rutgers Univ.)  
 [国際学術交流研究会] と共に

## マルクス経済学分野交流会

月 日	テ　ー　マ	報告者
第1回 5月12日	「経済理論（原論）：マルクス理論を生かす道」	角田修一氏
第2回 6月9日	最近の経済史から：日本近代化の東アジア史的位置	松野周治氏
第3回 7月13日	「金融規制緩和のとらえ方」 「国際経済論研究の現状と今日的課題」	福光 寛氏 岩田勝雄氏
第4回 9月30日	現代農業とアグリビジネス研究の課題 ——新しい農業の政治経済学アプローチを中心には——	松原豊彦氏
第5回 11月25日	企業の人事管理と労働政策の新展開	横山政敏氏
第6回 2月16日	トマス・モア“ユートピア”をめぐって 財政学の展開と現代財政学の課題	田中宏道氏 浅田和史氏

## ミクロ研究会、マクロ研究会、計量研究会、現代資本主義論研究会

月 日	テ　ー　マ	報告者
ミクロ 第1回 11月11日	私の経済理論研究50年	森嶋通夫氏（客員教授）
マクロ		ロンドン大学名誉教授
計 量		
ミクロ 第2回 11月18日	Cost Share Rules and Strategy-Proof Mechanisms in Public Good Economies	大瀬戸真次氏（筑波大学）
計 量 第3回 11月25日	通話需要関数のモデルと推定	太田耕史郎氏（郵政省）
マクロ 第4回 12月9日	日米貿易摩擦について [国際学術交流研究会]	永谷敬三氏（UBC）
マクロ 第5回 3月3日	最近のドイツ経済情勢と EU通貨統合の今後	レナーテ・フィリップケーン博士（ドイツ経済研究所）

## 現代資本主義論研究会シンポジウム

9月16日	報告者	野口 宏氏（関西大学）
		三好正巳氏（立命館大学）
	コメンテーター	高木 彰氏（立命館大学）